

憲法しんぶん速報版

第70号

2004年1月24日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

憲法改悪のための「国民投票法」反対

アピール発表し、共同の院内集会

憲法会議、許すな！憲法改悪市民連絡会などをつくる「5・3憲法集会実行委員会」は2月23日、国会において『憲法改正国民投票法案』に反対する院内集会をひらき、150人余が参加しました。また、実行委員会の事務局8団体は同日、「憲法改悪のための『国民投票法案』に反対します」との共同アピールを発表しました。

共産、社民議員があいさつ

集会では、キリスト者平和ネットの糸井玲子さんが主催者あいさつにつづき、共産党の小泉親司、宮本岳志両参院議員、社民党の土井たか子衆院議員、福島瑞穂参院議員があいさつ、小泉内閣のイラク派兵の暴挙を糾弾し、憲法改悪阻止の決意を表明しました。なお、民主党からも二人の議員の代理が出席していることが紹介されました。

つづいて、隅野隆徳・専修大学教授が国民主権の原則と国民投票の意義、改憲議連が作成した国民投票法案の問題点について説明しました。

このあと、自由法曹団、新婦人、憲法を生かす会、市民連絡会等の代表がそれぞれの取り組みの紹介と決意を込めた発言をおこないました。

止めよう、戦争するための人づくり 守ろう憲法9条 2004年2・11集会

◇とき 2月11日 13:30

◇ところ 労働スクエア東京

◇講演

今なぜ憲法改悪か

一橋大学教授 渡辺 治

生かそう憲法・教育基本法

東京大学名誉教授 堀尾 輝久

◇参加費 500円

プレ企画

東京大空襲戦災資料センターを訪ね、体験者のお話を聞く

11日10時現地集合

参加費 800円 (要予約)

主催／「2・11集会」実行委

集会では、8団体連名の「国民投票法」反対のアピールが紹介されました。

憲法改悪のための「国民投票 法案」に反対します

自民党は今度の通常国会に、「憲法改正国民投票法案」と改憲案発議の手続きを定める「国会法改正案」を提出しようとしています。この両法案は、憲法9条をはじめとする日本国憲法の改悪にいつでも着手できるようにするためのものであり、私たちは強く反対します。

自民党は、「憲法が予定している法律をこれまで制定してこなかったのは政治家の怠慢」と言っていますが、国民の中にいま急いで改憲手続き法を作れという声はありません。法案提出の本当の意図は、小泉内閣が有事法制の制定や自衛隊のイラク派兵、国民の生活と権利の侵害など憲法を踏みにじる政治、とりわけ第9条を破壊する政策を進め、さらに本格的に「戦争のできる国」をめざして憲法の改悪に突き進もうとしていることにあります。小泉首相が自民党に「05年11月までに改憲案を作れ」と指示し、先の総選挙で「憲法改正」を公約に掲げた動きと密接に連動していることは明らかです。

自民党が提出しようとしている法案は、2001年11月に憲法調査推進議員連盟（「改憲議連」）がまとめた「憲法改正国民投票法案」と「国会法改正案」を基本にするとされています。その「国民投票法案」は国会による改憲案の発議から60～90日間で国民

投票という短期間に限り、複数の条項を変えるときも賛否を一括にするか条項ごとにするかを国会の多数決にゆだね、承認に必要な「国民投票の過半数」（憲法96条）を「有効投票の過半数」に狭め、改憲案に対する開かれた批判・検討は封じるなど、改憲に有利な条件がいくつも盛り込まれています。

私たちは、日本国憲法とくに第9条を守り、生かす立場から、憲法改悪手続き法案の国会上程に強く反対します。

2004年1月23日

憲法改悪阻止各界連絡会／「憲法」を愛する女性ネット／憲法を生かす会／市民憲法調査会／女性の憲法年連絡会／平和を実現するキリスト者ネット／許すな！憲法改悪・市民連絡会

各地の動き

【京都】 京都憲法会議は1月23日、「イラクへの自衛隊派兵に引き続き反対する」との声明を発表しました。「イラク攻撃自体が国連憲章に反した不当なものであり、それへの日本政府の『支持』表明は、平和憲法に真向から反する」としたうえで、自衛隊の行動はまぎれもなく軍事行動と指摘、平和原則破壊の既成事実化に反対する取り組みに全力をあげるとしています。

【山梨】 山梨憲法会議は1月31日、「憲法学習会」を開きます。イラク派兵に反対する運動に結びつけて憲法改悪反対の盛り上げ、併せて憲法会議の活動を強化していこうとするものです。川村俊夫・中央憲法会議事務局長が講演します。